

今治市子ども・子育て会議

会議次第

日時 平成30年10月25日(木)16時から17時(予定)

場所 今治市役所 第1別館10階 101会議室

1 開会

2 議題

○今治市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について【資料1】

○今治市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について【資料2】

3 その他

4 閉会

今治市 子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査

調査ご協力をお願い

皆様には、日頃から市政の各般にわたりご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

今治市では、子ども・子育て支援法に基づき平成27年度から平成31年度の5か年の第1期子ども・子育て支援事業計画を策定し、事業を実施しております。今回、第2期子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、市民の皆様の子育てに関する生活実態、ご要望・ご意見などを把握し、計画に反映するべく「子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査」を行います。

ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただき、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

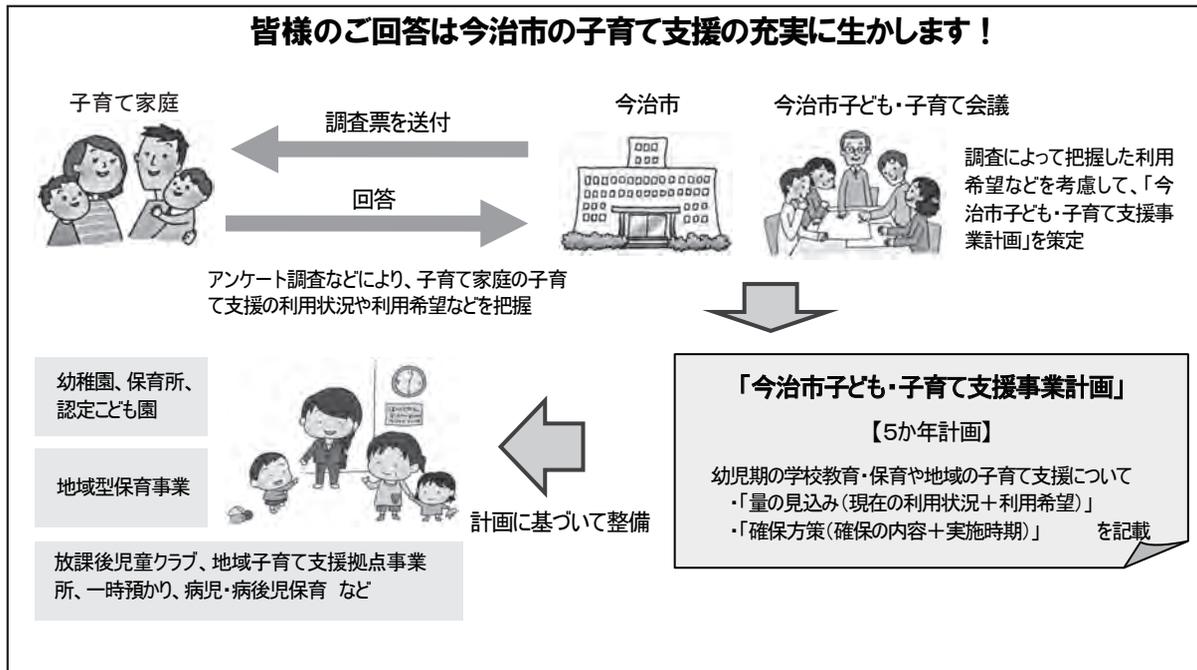
今治市長 菅 良二

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、**封筒のあて名のお子さん**のことについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにそってご回答ください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある枠内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。なお、8:30などの場合は、8時とするなど時間を切り下げてご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**説明書きや矢印にそって**ご回答ください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒に入れて〇月〇日（〇）**までにご投函ください。
- ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

【お問い合わせ先】 今治市 健康福祉部 子育て支援課
TEL 0898-36-1529 (直通) FAX 0898-34-1145
E-mail kosodate@imabari-city.jp

皆様のご回答は今治市の子育て支援の充実に生かします！



(用語の定義) この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園

3～5歳児に対して学校教育を行う施設(通常の就園時間の利用)

幼稚園の預かり保育

通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ

認可保育所

国が定める最低基準に適合した施設で都道府県知事の認可を受けたもの

認定こども園

1つの施設の中に幼稚園と保育所がある、都道府県知事から認定を受けた施設

ファミリー・サポート・センター

子育てに手助けが必要な方々の支援のため、「手伝いをしてほしい人」と「お手伝いをしたい人」が会員としてお互いに助け合う事業

地域型保育事業

主に3歳未満の子どもを小規模な施設で保育する事業

地域子育て支援拠点事業所

親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする事業

放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組み

放課後児童クラブ(学童保育)

保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの

育児休業給付

子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳に達する前日)になるまで育児休業給付金が支給される仕組み

保険料免除

子どもが満3歳になるまでの育児休業などの期間において、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

ショートステイ

児童養護施設などで一定期間子どもを保護する事業

一時預かり

私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業

利用者支援事業

子育て支援の情報や子育てに関する相談、専門機関への引継ぎを行う事業

※今治市ホームページの各課の欄にも情報が掲載されています。



子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

問 7

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------|
| 1 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる | } 問 7-1 へ |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 問 7-2 へ |
| 5 いずれもない | ⇒ 問 8 へ |

問 7-1

【回答する方】
問 7「1」または「2」に○の方

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である
- 3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 4 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 5 その他 ()

⇒ 問 8 へ

問 7-2

【回答する方】
問 7「3」または「4」に○の方

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である
- 3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 4 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 5 その他 ()

問 8

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 祖父母などの親族
3 近所の人
5 保健所・保健センター
7 民生委員・児童委員
9 今治市の子育て関連担当窓口
11 いなし（ない） | 2 友人や知人
4 子育て支援施設
（地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など）、児童館など）
6 認定こども園・幼稚園・保育所などの教育・保育施設
8 かかりつけの医師
10 その他 【例】ベビーシッター
（) |
|--|--|

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問 9

あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。就労している方は、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」を枠内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。8：30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※日数や時間が一定でない方は、主な日数・時間を記入してください。

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労（会社員、自営業、派遣や契約社員など）

パート・アルバイト…フルタイム以外の就労（短時間勤務の派遣、契約社員、正社員など）

（1）母親【父子家庭の場合、記入は不要です】（○は1つ）

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間	
1	フルタイム	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	} 問 12 へ
2	フルタイム 【産休・育休・介護休業中である】	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	
3	パート・アルバイトなど	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	} 問 10 へ
4	パート・アルバイトなど 【産休・育休・介護休業中である】	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	} 問 11 へ				
6	これまで就労したことがない					

（2）父親【母子家庭の場合、記入は不要です】（○は1つ）

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間	
1	フルタイム	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	} 問 12 へ
2	フルタイム 【産休・育休・介護休業中である】	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	
3	パート・アルバイトなど	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	} 問 10 へ
4	パート・アルバイトなど 【産休・育休・介護休業中である】	<input type="checkbox"/> 日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時	
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	} 問 11 へ				
6	これまで就労したことがない					

問 10

【回答する方】
問 9(1)(2)
の
「3」「4」に
○の方

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3 パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- 4 パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 11

【回答する方】
問 9(1)(2)
の
「5」「6」に
○の方

就労したいという希望はありますか。(当てはまる番号・記号それぞれ○は1つ)
該当する枠内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態（ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間）

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 2 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態（ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
→1週当たり □日 1日当たり □□時間）

問 12

【回答する方】
母親の皆様
すべて

父子家庭は
問 13へ

あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1 離職した | ⇒ 問 12-1 へ |
| 2 継続的に働いていた（転職・育休も含む） | ⇒ 問 13 へ |
| 3 出産1年以前にすでに働いていなかった | ⇒ 問 13 へ |

問 12-1

【回答する方】
問 12
「1」に
○の方

仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。
(○は1つ)

- 1 教育・保育の事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
- 2 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
- 3 教育・保育の事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
- 4 配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続して就労していた
- 5 働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続して就労していた
- 6 制度や環境に関係なく、自発的にやめた
- 7 その他（)

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についてお伺いします

※ここでいう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問13に示した事業が含まれます。

問13

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 幼稚園 | 2 幼稚園の預かり保育 |
| 3 認可保育所(定員20人以上) | 4 認定こども園 |
| 5 地域型保育事業 | 6 その他の認可外の保育施設 |
| 7 ファミリー・サポート・センター | 8 その他 例:ベビーシッター |
| 9 利用していない ⇒ 問13-4へ | () |



今治市の教育・保育施設一覧

問13-1

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、枠内に具体的な数字でご記入ください。
(数字は一桁に一字)

時間は、必ず(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。8:30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてお答えください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時 ~ 時)

(2) 希望(現在利用している方)

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時 ~ 時)

問13-2

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。(〇は1つ)

1. 今治市内

2. 他の市区町村

問13-3

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。
(〇はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 保護者が現在就労している
- 3 保護者に就労予定がある/求職中である
- 4 保護者が家族・親族などを介護している
- 5 保護者に病気や障がいがある
- 6 保護者が学生である
- 7 その他 ()

問 16

問 15 のような地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など）について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（○は1つ）
 おおよその利用回数（頻度）を枠内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

- 1 利用していないが、今後利用したい
 1週当たり 回 もしくは 1月当たり 回程度
- 2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1週当たり 更に 回 もしくは 1月当たり 更に 回程度
- 3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 17

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑰の事業ごとにお答えください。（A～Cのそれぞれに○は1つずつ）

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①保健センターのパパママ学級、離乳食講習	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談・訪問サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子どもと家庭の相談 （家庭相談員による相談窓口）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥わくわく子育てサロン（身近な地域における 親子の情報交換・交流の場）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦マイ保育園事業 （保育所などでの体験・情報・相談サービス）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など 8か所：育児相談・仲間づくり・親子ふれあいの場）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育てファミリー応援ショップ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪いまばりファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫バリアママ子育て応援事業（市のホームページによる 子育て応援サイト・子育て応援ガイドブック）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬短期入所生活援助事業（ショートステイ）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭子育て応援ヘルパー（乳幼児の身の回りの世 話や家事などの援助相談を行う）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮子育てサークル（仲間づくり）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯親支援プログラム事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰利用者支援事業	㊦基本型（ばりっこ広場、 ハルモニアのおへや）	はい いいえ	はい いいえ
	㊧母子保健型 （ばりハート）	はい いいえ	はい いいえ

**あて名のお子さんの病気の際の対応についてお伺いします
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 22

【回答する方】
問 13
「1」～「8」
に
〇の方

あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

ア 父親が休んだ	□□	日	}	⇒	(「ア」「イ」を選択) 問 22-1 へ
イ 母親が休んだ	□□	日			
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□	日	}	⇒	(「ウ」～「ケ」を選択) 問 22-4 へ
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□	日			
オ 病児・病後児の保育を利用した	□□	日			
カ ベビーシッターを利用した	□□	日			
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	□□	日			
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□	日			
ケ その他 ()	□□	日			
コ なかった	⇒ 問 23 へ				

問 22-1

【回答する方】
問 22
「ア」か「イ」
に
〇の方

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(〇は1つ)
また、日数についても枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)
なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1 できれば病児・病後児保育施設などを利用したい	→ □□	日	⇒ 問 22-2 へ
2 利用したいとは思わない			⇒ 問 22-3 へ

問 22-2

【回答する方】
問 22-1
「1」に
〇の方

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(〇はいくつでも)

- 1 他の施設(例：幼稚園・保育所など)に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2 小児科に併設した施設で子どもを預かる事業
- 3 地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センターなど)
- 4 その他 ()

⇒ 問 23 へ

問 22-3

【回答する方】
問 22-1
「2」に
〇の方

そう思われる理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 | 2 地域の事業の質に不安がある |
| 3 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間
日数など)がよくない | 4 利用料がかかる・高い |
| 5 利用料がわからない | 6 親が仕事を休んで対応する |
| 7 その他 () | |

⇒ 問 23 へ

問 24-1

【回答する方】

問 24
「1」に
○の方

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(○はいくつでも)

- 1 大規模施設で子どもを保育する事業 (例: 幼稚園・保育所など)
- 2 小規模施設で子どもを保育する事業 (例: 地域型保育事業など)
- 3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
- 4 その他 ()

問 25

この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。
(預け先が見つからなかった場合も含みます)
あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号1つに○・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. あった

(対処方法)

- | | | |
|---|--------------------------------------|---|
| ↳ | ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |
| | イ 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |
| | ウ イ以外の保育の事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |
| | エ 仕方なく子どもを同行させた | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |
| | オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |
| | カ その他 () | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 |

2. なかった

**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてお伺いします**

⇒ 5歳未満の方は、問 30へ

問 26

あて名のお子さんについて、小学校低学年 (1~3年生) のうちは、放課後 (平日の小学校終了後) の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)
それぞれ希望する週あたり日数を枠内に数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も枠内に数字でご記入ください。時間は必ず (例) 18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字) 17:30などの場合は17時とするなど、時間を切り下げてお答えください。

- | | | | | |
|----|--|---|--------------------------|------|
| 1 | 自宅 | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 2 | 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 3 | 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など) | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 4 | 児童館 | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 5 | 放課後子ども教室
(学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など) | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 6 | 学校の部活動 (陸上や金管バンドなど) | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 7 | 放課後児童クラブ (学童保育) | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 8 | ファミリー・サポート・センター | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 9 | 放課後等デイサービスなど障がい児支援施設 | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |
| 10 | その他 (公民館、公園など) | 週 | <input type="checkbox"/> | 日くらい |

下校時から
→ 時まで

問 27

あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）
 それぞれの週当たり日数を枠内に数字でご記入ください。
 また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も枠内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）
 17：30などの場合は17時とするなど、時間を切り下げてお答えください。
 ※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1	自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
2	祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
3	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
4	児童館	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
5	放課後子ども教室 （学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
6	学校の部活動（陸上や金管バンドなど）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
7	放課後児童クラブ（学童保育）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	→ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで 下校時から
8	ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
9	放課後等デイサービスなど障がい児支援施設	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	
10	その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい	

問 28

【回答する方】
 問 26 か問
 27 で
 「7」に
 ○の方

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) (2) それぞれについてお答えください。（○は1つ）また、利用したい時間帯を、枠内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）
 8：30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてお答えください。

(1) 土曜日

1	1年生までは利用したい	}	→	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2	2年生までは利用したい			
3	3年生までは利用したい			
4	4年生までは利用したい			
5	5年生までは利用したい			
6	6年生までは利用したい			
7	利用する必要はない			

(2) 日曜日・祝日

1	1年生までは利用したい	}	→	利用したい時間帯 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
2	2年生までは利用したい			
3	3年生までは利用したい			
4	4年生までは利用したい			
5	5年生までは利用したい			
6	6年生までは利用したい			
7	利用する必要はない			

問 29

あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(○は1つ)
また利用したい時間帯を、枠内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。
(数字は一枠に一字)8:30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてお答えください。

<ul style="list-style-type: none"> 1 1年生までは利用したい 2 2年生までは利用したい 3 3年生までは利用したい 4 4年生までは利用したい 5 5年生までは利用したい 6 6年生までは利用したい 7 利用する必要はない 		<p style="text-align: center;">利用したい時間帯</p> <p style="text-align: center;">□□時から□□時まで</p>
---	--	---

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてお伺いします**

問 30

あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(○は1つ)
また、取得していない方はその理由をご記入ください。

<p>母親【父子家庭の場合、記入は不要です】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 働いていなかった 2 取得した(取得中である) 3 取得していない <p style="text-align: center;">⇒</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</p> </div>	<p>父親【母子家庭の場合、記入は不要です】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 働いていなかった 2 取得した(取得中である) 3 取得していない <p style="text-align: center;">⇒</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2 仕事が忙しかった 3 (産休後に)仕事に早く復帰したかった 4 仕事に戻るのが難しそうだった 5 昇給・昇格などが遅れそうだった 6 収入減となり、経済的に苦しくなる 7 保育所(園)などに預けることができた 8 配偶者が育児休業制度を利用した 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10 子育てや家事に専念するために退職した 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13 育児休業を取得できることを知らなかった 14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15 その他() 	

問 30-1

育児休業給付の仕組みや、育児休業などの期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(○は1つ)

- 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2 育児休業給付のみ知っていた
- 3 保険料免除のみ知っていた
- 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30-2

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つ)

【回答する方】
問 30
「2」に
○の方

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ
- 2 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ
- 3 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 30-3 へ
- 2 現在も育児休業中である ⇒ 問 30-9 へ
- 3 育児休業中に離職した ⇒ 問 31 へ

問 30-3

【回答する方】
問 30-2
「1」に
○の方

育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(○は1つ)

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2 それ以外だった

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2 それ以外だった

問 30-4

【回答する方】
問 30-2
「1」に
○の方

育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

実際の取得期間 □□ 歳 □□ か月 希望 □□ 歳 □□ か月

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

実際の取得期間 □□ 歳 □□ か月 希望 □□ 歳 □□ か月

問 30-5

【回答する方】
問 30-2
「1」に
○の方

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。枠内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 歳 □□ か月

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 歳 □□ か月

問 30-6
【回答する方】
問 30-4 で
実際の復帰
と希望が異
なる方

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (○はいくつでも)

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 希望する保育所に入るため | 2 配偶者や家族の希望があったため |
| 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5 その他 () | |

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 希望する保育所に入るため | 2 配偶者や家族の希望があったため |
| 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5 その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (○はいくつでも)

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 希望する保育所に入れなかったため | 2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3 配偶者や家族の希望があったため | 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6 その他 () |

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 希望する保育所に入れなかったため | 2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3 配偶者や家族の希望があったため | 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5 子どもをみてくれる人がいなかったため | 6 その他 () |

問 30-7
【回答する方】
問 30-2
「1」に
○の方

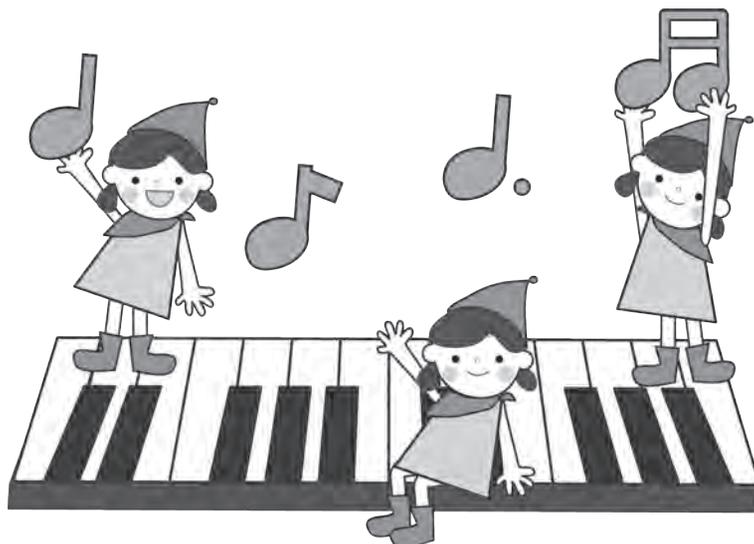
育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2 利用した
- 3 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2 利用した
- 3 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)



問 33 あなたは、児童虐待について次のことを知っていますか。(①～③のそれぞれに○は1つずつ)

① 児童虐待の防止などに関する法律を知っていますか。	はい	いいえ
② 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。	はい	いいえ
③ ご家庭で虐待の心配があったら相談できる機関を知っていますか。	はい	いいえ

問 34 あなたは、児童虐待を発見した場合、どこに通報しますか。(○は1つ)

- 1 児童相談所
- 2 子育て支援施設（地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など）、児童館）・NPO
- 3 今治市子育て支援課
- 4 保健センター
- 5 警察
- 6 幼稚園・保育所
- 7 民生委員・児童委員
- 8 その他（)

問 35 あなたは、今治市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- 1 市報「広報いまばり」
- 2 今治市ホームページ
- 3 いまばり子育て応援ガイドブック
- 4 今治市こんにちは赤ちゃん冊子
- 5 愛媛のびのび子育て応援ブック「のびのび」
- 6 公共施設に置いてあるチラシ
- 7 テレビ、ラジオ
- 8 認定こども園、幼稚園、保育所の先生から
- 9 民生委員・児童委員
- 10 今治市の子育て関連担当窓口
- 11 入手先を知らない。
- 12 その他（)

問 36 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(○は1つ)

- 1 現在参加している
- 2 現在参加していないが今後機会があれば参加したい
- 3 現在参加しておらず今後も参加するつもりはない

子育てを支援する生活環境の整備についてお伺いします

問 37 あて名のお子さんとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配
- 2 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
- 3 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
- 4 トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
- 5 授乳する場所や必要な設備がない
- 6 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない
- 7 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
- 8 緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとうるおいがない
- 9 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
- 10 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
- 11 その他（)
- 12 特にない

問 38

お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 2 満足していない |
| 3 どちらとも思わない | 4 わからない |

問 39

お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 近くに遊び場がない
- 2 雨の日に遊べる場所がない
- 3 思い切り遊ぶための十分な広さがない
- 4 遊具などの種類が充実していない
- 5 不衛生である
- 6 いつも閑散としていて寂しい感じがする
- 7 遊具などの設備が古くて危険である
- 8 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
- 9 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
- 10 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
- 11 遊び場周辺の道路が危険である
- 12 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない
- 13 その他 ()
- 14 特になし

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします

問 40

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。枠内に数字でご記入ください。(1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一枠に一字) また、その時間は十分だと思いますか。(○は1つ)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

子どもと一緒に過ごす時間 時間

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 十分だと思う | 2 まあまあ十分だと思う |
| 3 あまり十分だと思わない | 4 不十分だと思う |
| 5 わからない | |

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

子どもと一緒に過ごす時間 時間

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 十分だと思う | 2 まあまあ十分だと思う |
| 3 あまり十分だと思わない | 4 不十分だと思う |
| 5 わからない | |

問 41

1日当たりの家事を何時間くらいしますか。枠内に数字でご記入ください。(1週間の平均的な時間をお答えください。数字は一枠に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

時間

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

時間

問 42

配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(○は1つ)
父子家庭・母子家庭の場合、記入は不要です。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

配偶者(夫)との家事、育児分担に

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 満足している | 2 まあまあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 不満だ |
| 5 わからない | |

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

配偶者(妻)との家事、育児分担に

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 満足している | 2 まあまあ満足している |
| 3 あまり満足していない | 4 不満だ |
| 5 わからない | |

問 43

あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。(○はいくつでも)

- 1 残業や出張が入ること
- 2 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
- 3 配偶者の協力が得られないこと
- 4 家族や親族の理解が得られないこと
- 5 職場に子育てを支援する制度がないこと(育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)
- 6 職場の理解や協力が得られないこと
- 7 子どものほかに面倒をみなければならない人がいること
- 8 子どもの面倒をみってくれる保育所や放課後児童クラブなどがみつからないこと
- 9 子どもと接する時間が少ないこと
- 10 その他()

問 44

あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。
現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 感じる | 2 まあまあ感じる |
| 3 あまり感じない | 4 感じない |
| 5 わからない | |



行政への要望についてお伺いします

問 45

行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。(〇はいくつでも)

施設の整備・改善	1 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する 2 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の園庭開放を充実する 3 親子が安心して集まれる集いの場などの屋内の施設を整備する 4 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道などの段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む 5 保育所や放課後児童クラブなどの働きながら子どもを預けられる施設を増やす
体制の整備	6 子育てに困ったときの相談体制を充実する 7 子育て支援に関する情報提供を充実する 8 安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する
活動の支援	9 子育てサークル活動への支援を充実する 10 専業主婦など、誰でも気軽に利用できるNPOや民営などによる教育・保育事業の支援を行う
施策の充実	11 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る 12 幼稚園の保育事業（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育など）を充実する 13 子どもの安全を確保する対策を充実する 14 子育て講座など子育てについて学べる機会をつくる 15 子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など） 16 公営住宅の優先入居など、住宅面での配慮や支援に取り組む
	17 その他（ ） 18 特になし

問 46

今治市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(〇は1つ)

	満足度が低い	←—————→	満足度が高い		
	1	2	3	4	5

今治市の子育て支援に希望することや、
子育てで困っていることなどがありましたら、自由にご記入ください

Blank area for handwritten responses, featuring horizontal dashed lines for writing.

ご協力ありがとうございました。この調査票は、○月○日(○)までに、
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

1子育て家庭を支える教育・保育事業の提供

(2)教育・保育の量の見込み及び提供体制

ア陸地部

(単位:人)		平成27年度(計画)				平成27年度(実績)				平成28年度(計画)				平成28年度(実績)			
		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号	
				0歳	1-2歳			0歳	1-2歳			0歳	1-2歳			0歳	1-2歳
①量の見込み(必要利用定員総数)		1,287	2,112	449	912	2,374	1,384	291	840	1,250	2,052	444	927	2,201	1,322	285	822
確保の 内容	認定こども園、幼稚園、保育所 (特定教育・保育施設)	1,120	1,847	310	873	1,162	1,557	302	851	780	1,947	340	943	1,312	1,587	302	851
	確認を受けない幼稚園	2,275	/	/	/	1,735	/	/	/	2,275	/	/	/	1,310	/	/	/
	地域型保育事業	/	/	21	108	/	/	9	28	/	/	21	108	/	/	11	31
	②小計	3,395	1,847	331	981	2,897	1,557	311	879	3,055	1,947	361	1,051	2,622	1,587	313	882
②-①		2,108	-265	-118	69	523	173	20	39	1,805	-105	-83	124	421	265	28	60

ト

(単位:人)		平成29年度(計画)				平成29年度(実績)			
		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号	
				0歳	1-2歳			0歳	1-2歳
①量の見込み(必要利用定員総数)		1,225	2,010	437	920	2,212	1,248	305	896
確保の 内容	認定こども園、幼稚園、保育所 (特定教育・保育施設)	900	2,147	416	1,083	1,542	1,587	265	861
	確認を受けない幼稚園	1,155	/	/	/	1,080	/	/	/
	地域型保育事業	/	/	21	108	/	/	11	32
	②小計	2,055	2,147	437	1,191	2,622	1,587	276	893
②-①		830	137	0	271	410	339	-29	-3

※H30.3.31時点で、3号0歳において29名、1~2歳において3名の待機児童が生じているが、H30.4.1時点では発生していない。

イ島しよ部

(単位:人)		平成27年度(計画)				平成27年度(実績)				平成28年度(計画)				平成28年度(実績)			
		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号	
				0歳	1-2歳												
①量の見込み(必要利用定員総数)		20	254	28	91	16	256	10	91	17	221	27	97	87	187	13	64
確保の 内容	認定こども園、幼稚園、保育所 (特定教育・保育施設)	115	247	33	140	115	247	33	140	115	247	33	140	88	169	33	140
	確認を受けない幼稚園	0	/	/	/	0	/	/	/	0	/	/	/	0	/	/	/
	地域型保育事業	/	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0	/	/	0	0
	②小計	115	247	33	140	115	247	33	140	115	247	33	140	88	169	33	140
②-①		95	-7	5	49	99	-9	23	49	98	26	6	43	1	-18	20	76

(単位:人)		平成29年度(計画)				平成29年度(実績)			
		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号		1号 (3-5歳 教育のみ)	2号 (3-5歳 保育の必要 性あり)	3号	
				0歳	1-2歳			0歳	1-2歳
①量の見込み(必要利用定員総数)		17	217	27	95	97	165	22	57
確保の 内容	認定こども園、幼稚園、保育所 (特定教育・保育施設)	115	247	33	140	97	169	33	140
	確認を受けない幼稚園	0	/	/	/	/	/	/	/
	地域型保育事業	/	/	0	0	/	/		
	②小計	115	247	33	140	97	169	33	140
②-①		98	30	6	45	0	4	11	83

2子育て支援の充実

(1) 地域子ども・子育て支援事業の充実

【1-1 時間外保育事業(延長保育事業)】

ア陸地部

(単位:人)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1,215	264	1,201	269	1,183	235
②確保の内容	1,460	1,460	1,460	1,460	1,460	2,473
②-①	245	1,196	259	1,191	277	2,238

イ島しょ部

(単位:人)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	102	0	97	0	95	0
②確保の内容	80	80	80	80	80	290
②-①	-22	80	-17	80	-15	290

ω

【1-2 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)】

(単位:人)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み(低学年)	1,388	1,190	1,393	1,285	1,379	1,296
②確保の内容(低学年)	1,388	1,165	1,393	1,263	1,379	1,281
②-①	0	-25	0	-22	0	-15
③量の見込み(高学年)	370	127	370	128	370	137
④確保の内容(高学年)	100	116	150	104	200	132
④-③	-270	-11	-220	-24	-170	-5

【1-3 地域子育て支援拠点事業】

(単位:人回)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		7,674	5,176	7,726	4,600	7,632	4,709
②確保の内容	月間延べ	7,674	7,674	7,726	7,726	7,632	7,632
	実施か所数	8	8	8	8	8	8
②-①		0	2,498	0	3,126	0	2,923

【1-4 一時預かり事業】

ア陸地部

(ア)幼稚園における在園児を対象とした一時預かり

(単位:人日)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1号による利用	9,419	77,892	9,150	79,636	8,966	79,078
	2号による利用	169,714		164,858		161,541	
②確保の内容		915,600	915,600	915,600	915,600	915,600	568,380
②-①		736,467	837,708	741,592	835,964	745,093	489,302

(イ)幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外

(単位:人日)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		17,558	7,824	17,381	10,074	16,971	8,573
②確保の内容		27,300	33,780	27,300	38,400	27,300	32,520
②-①		9,742	25,956	9,919	28,326	10,329	23,947

イ島しょ部

▶

(ア)幼稚園における在園児を対象とした一時預かり

(単位:人日)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	1号による利用	0	3	0	371	0	392
	2号による利用	2,854		2,481		2,451	
②確保の内容		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	4,400
②-①		-454	2,397	-81	2,029	-51	4,008

(イ)幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外

(単位:人日)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		4,019	1,077	3,946	531	3,873	751
②確保の内容		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	5,400
②-①		1,981	4,923	2,054	5,469	2,127	4,649

【1-5 子育て短期支援事業】

(単位:人日)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	20	10	20	13	19	16
②確保の内容	20	20	20	20	19	19
②-①	0	10	0	7	0	3

【1-6 病児・病後児保育事業】

(単位:人日)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	7,753	0	7,631	0	7,503	475
②確保の内容	0	0	1,500	0	1,500	1,500
②-①	-7,753	0	-6,131	0	-6,003	1,025

【1-7 ファミリー・サポート・センター事業】

(単位:人日)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
①量の見込み	3,538	6,833	3,491	3,836	3,467	2,679	
②確保の内容	年間延べ	3,538	6,833	3,491	3,836	3,467	2,679
	か所数	1	1	1	1	1	1
②-①	0	0	0	0	0	0	

【1-8 利用者支援事業】

(単位:か所)	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	3	2	3	2	3	3
②確保の内容	2	2	3	2	3	3
②-①	-1	0	0	0	0	0

【1-9 乳児家庭全戸訪問事業】

(単位:人)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		1,217	1,113	1,201	1,062	1,181	1,000
②確保の内容	年間延べ	1,217	1,075	1,201	1,047	1,181	988
	訪問者	89	89	89	89	89	89
②-①		0	-38	0	-15	0	-12

【1-10 養育支援訪問事業】

(単位:人、件数)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み	ヘルパー派遣	25	27	25	18	25	23
	養護対応相談	450	497	450	605	450	851
②確保の内容	ヘルパー派遣	25	27	25	18	25	23
	養護対応相談	450	497	450	605	450	851
②-①		0	0	0	0	0	0

【1-11 妊婦健診事業】

(単位:人)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
①量の見込み		1,168	1,042	1,152	1,038	1,133	1,020
②確保の内容		1,168	1,082	1,152	1,038	1,133	1,020
②-①		0	40	0	0	0	0

2 子育て支援の充実

(2) 保育サービスの充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
特定保育	◆保護者がパート等で保育が困難な場合に、週2～3日、あるいは午前中のみ等、個々のニーズに応じた柔軟な保育サービスを実施します。	保育幼稚園課	子ども・子育て支援新制度において、保育短時間認定の対象となりました。
保育の質の向上	◆各種団体等が実施する研修会への参加を促進し、保育の質の向上を図ります。	保育幼稚園課	保育協議会等が実施する各種研修会へ参加しました。継続して行います。
多子世帯の保育料の減免	◆同じ世帯から2人以上が同時に保育所や幼稚園等に入所する場合、保育料の減免により多子世帯の経済的負担を軽減します。	保育幼稚園課	国の多子世帯の保育料減免に加え、市独自の保護者負担の軽減を行いました。継続して行います。

(3) 地域における子育て支援サービスの充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
わくわく子育てサロン事業	◆児童館や地域子育て支援拠点事業所等の拠点施設がない地域の保育所等で、子育て中の親子が交流・情報交換のできる場所を月数回提供します。	子育て支援課	2箇所で開催しました。参加者数は延べ488人です。継続して行います。
マイ保育園事業	◆妊娠中から満3歳になるまでの乳幼児のいる家庭を対象に、保育所を地域の子育て拠点施設と位置づけ、子育て相談、子育て講座、園庭開放、おためし一時保育（半日無料体験）等を行います。	子育て支援課	33園で開催し、登録者数は年度末で834人です。
子育てファミリー応援ショップ事業	◆妊婦や就学前児童のいる世帯が、協賛店舗で買い物をした際に市が交付する「子育て応援カード」を提示すると、店独自の割引等などのサービスが受けられます。（事業の期間は、平成29年度まで）	子育て支援課	年度末の協賛店舗数は332店舗です。平成34年度まで事業を延長して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
子育て応援ヘルパー派遣事業	◆妊娠中や乳児を養育する方が体調不良等で家事や育児が困難な家庭、2人以上の乳幼児を養育する家庭等にヘルパーを派遣して、家事や育児の援助を行います。	子育て支援課	派遣回数は78回、計141時間の利用がありました。継続して行います。
子どもと家庭の相談	◆家庭児童相談員を配置して、心配や悩みの個別相談、巡回相談、電話相談を実施し、子どもと家庭に関する助言・指導を行います。	子育て支援課	相談数は、延べ1,010件です。継続して行います。
婦人相談	◆婦人相談員を配置して、配偶者等からの暴力や暴言等(DV)に関する悩み、子育てに関する悩み等について、相談事業を行います。	子育て支援課	相談数は、延べ543件です。継続して行います。
子育てプラザ(総合窓口)	◆子育て等に関する総合的な窓口を設置し、相談等を行います。	子育て支援課	家庭児童相談員、婦人相談員、母子・父子自立支援員を配置しています。
幼稚園における子育て支援	◆地域の未就園児のいる家庭への情報提供や相談事業を行います。	学校教育課	各幼稚園において実施しました。継続して行います。
幼稚園における園庭・園舎の開放	◆幼稚園の園庭・園舎を開放し、子育て相談や未就園児の親子登園等を実施します。	学校教育課	各幼稚園において実施しました。継続して行います。
ブックスタート	◆赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりふれあうひとときを持つきっかけづくりのため、乳児健診時に絵本を手渡します。	社会教育課	平成17年1月より開始しています。継続して行います。
絵本・紙芝居の読み聞かせ	◆図書館では、小さい頃から絵本や紙芝居に親しんでもらうため、朗読ボランティアによる読み聞かせを実施します。	社会教育課	中央図書館では毎日開催しています。波方図書館、大西図書館、大三島図書館でも定期的に開催しています。継続して行います。
子育てサークル支援の推進	◆地域の自主的な子育てサークルに対し、子育てに関する情報提供や意見交換会を実施します。	子育て支援課	登録サークル数は6団体です。継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
親支援プログラム	◆参加者中心型の親支援プログラムを実施するファシリテーターを養成し、子育て中の親の不安や孤立感を和らげ親同士が支えあう関係を構築するとともに、リスクを抱える家庭に対しても親子が共に育ち、育て合うための援助を行います。	子育て支援課	親支援プログラムを実施し、子育て中の親の不安や孤立感を和らげ親同士が支えあう関係を構築しました。 継続して行います。
子育て個別相談	◆育児不安や、育てにくさを感じる親への支援を行います。	健康推進課	医師による相談を4回実施しました。 継続して行います。
発達フォロー相談及び教室	◆幼児健診後、フォローの必要な児の2次相談やフォロー教室の実施により、親子の支援を行います。	健康推進課	2次相談23回、フォロー教室年3クール(1クール月2回×3か月)実施しました。 継続して行います。

(4) 子育て支援のネットワークづくり

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
地域子育てサポーター	◆地域における子育て支援者として、子育て当事者への情報提供や交流の仲立ち、子育てサークルの支援等を行います。	子育て支援課	サポーター数は26人です。 継続して行います。
地域と子育て機関との連携	◆地域の子育て機関と子育て世帯とのパイプ役を行う民生・児童委員、主任児童委員の活動を支援、推進します。	子育て支援課 福祉政策課	乳児家庭全戸訪問事業の訪問数は988件です。 継続して行います。
	◆地域の関係機関ができるだけ情報の共有を図り、発達障がいの早期発見や児童虐待の未然防止等に努めます。		地域の関係機関が連携し、情報の共有を図りました。 継続して行います。
スマイルママフェスタ	◆子育ての孤立化が指摘される中、イベントを通じて、地域や子育て支援に関わる方々で輪を作り、子育て世帯を支えることで、笑顔があふれる今治市を目指します。	子育て支援課	平成29年10月15日(日)、サン・アビリティーズ今治にて開催しました。来場者数は約2,000人です。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
バリママ子育て応援事業	<p>◆子育て中の「ママさん協力員」が毎月情報交換を行い、ホームページに子育て支援サイト「がんばりママ きらりんネット」を掲載し、子育て家庭への情報発信を行います。</p>	子育て支援課	<p>カンタンレシピやママのコラム等、月1回「がんばりママ きらりんネット」に掲載しました。 継続して行います。</p>
	<p>◆子育てに関する情報誌を作成・配布し、子育て世帯への情報提供を行います。</p>		<p>子育て情報を収集し、子育て応援ガイドブックを作成しました。 継続して行います。</p>

3 仕事と家庭の両立

(1)ワーク・ライフ・バランスの推進

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	◆仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けて、国や県、民間企業、地域住民等と連携を図りながら、意識啓発を図ります。	子育て支援課 商工振興課	国等から送付されるパンフレット等の掲示を行い、意識啓発を図りました。 また、就職を希望する母親への支援としてマザーズジョブズサポート事業を行いました。受講者数は延べ55人です。 継続して行います。
家庭や職場等における男女共同参画	◆男女が共に家事・育児・介護等を分かち合い、家庭生活と仕事や地域活動を両立することができるよう、意識啓発を行います。	人権啓発課	父と子のアイロンがけ教室を開催する等、男性の家事育児参画意識の啓発を図りました。 継続して行います。
育児・介護休業制度の普及啓発	◆育児または家族の介護を行う労働者の職業生活と家庭生活の両立が図られる雇用環境の整備に向けて、周知活動を行います。	商工振興課	国等から送付されるパンフレット等を掲示し、周知活動を行いました。 継続して行います。
父親の子育て参加	◆父親が子育てに積極的に参加できるよう、国や県、民間企業、地域住民等と連携を図りながら、イクメンプロジェクトの推進等の意識啓発を図ります。	子育て支援課	国等から送付されるパンフレット等の掲示を行い、意識啓発を図りました。 継続して行います。
産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保	◆0歳児の子どもの保護者が、保育所等への入所の時期を考慮して育児休業の取得をためらったり、途中で切り上げたりする状況を踏まえ、ニーズ調査結果を分析しつつ、育児休業期間満了時（原則1歳到達時）から利用を希望する保護者が、円滑に質の高い保育を利用できるよう、行政窓口並びに地域子育て支援拠点事業所等の相談窓口の充実に努めます。	保育幼稚園課	行政窓口並びに地域子育て支援拠点事業所等で、相談窓口を整えました。 継続して行います。

4 教育環境の充実

(1) 育成に向けた学校の教育環境整備

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
確かな学力の向上	◆愛媛大学との共同研究をはじめ、関係機関と連携し、きめ細かな指導の充実や学校の活性化等の取り組みを推進します。	学校教育課	愛媛大学との共同研究による、理論に裏付けされた実践研究を通じ、成果と課題を明らかにし、学力向上に向けて指導の改善を図りました。 継続して行います。
道徳教育の推進	◆すべての幼稚園・小中学校において、計画的な道徳教育を実施します。	学校教育課	各小中学校で年間指導計画の見直しを行い、児童生徒の実態に即した道徳教育を実施しました。 継続して行います。
人権教育の推進	◆すべての幼稚園・小中学校において、同和教育をはじめ、あらゆる差別の解消をめざした人権教育の推進を図ります。	学校教育課	各小中学校において、授業公開やPTAの研修会、毎月11日の「人権の日」に合わせた校内研修会等を実施しました。 継続して行います。
スクールカウンセラー	◆カウンセリングにより、問題行動等の予防・解消を図り、ソーシャルワーカーと連携しながら、子どもの豊かな心の育成を推進します。	学校教育課	中学校10校を拠点校として、スクールカウンセラーと学校が連携して健全育成を図りました。 継続して行います。
ハートなんでも相談員	◆児童生徒が気軽に話せる第三者として悩み、不安、ストレス等を和らげ、問題行動や不登校等の防止を図ります。	学校教育課	小中学校28校に配置し、地域の相談員と学校が協力しながら問題解決にあたりました。 継続して行います。
スクール ソーシャルワーカー	◆家庭、学校、地域等、子どもの日常生活の中で出会う様々な困難について、専門的な知識・技術を用い、子どもの立場に立って調整します。	学校教育課	様々な困難を抱えている児童生徒や保護者に寄り添った相談活動を行いました。 継続して行います。
小中学校における スポーツ環境の充実	◆課外活動や運動部活動を推進し、子どもたちが積極的にスポーツに親しむ習慣、意欲、能力を育成します。	学校教育課	課外活動や部活動を通じて継続して推進しました。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
信頼される小中学校づくり	◆学校支援ボランティア制度を活用して学校教育の充実を図る一方、危機管理マニュアルを充実し、研修や訓練等を計画的に実施します。	学校教育課	地域の人材を生かすとともに、児童生徒の安全確保のため、研修や訓練等を行う等、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めました。 継続して行います。
幼児教育の振興	◆幼稚園における地域交流活動を推進するとともに、私立幼稚園に通園する家庭に対し、経済的負担を軽減するため、私立幼稚園就園奨励費を支給します。	学校教育課	新制度への移行を選択していない私立幼稚園に対して、幼稚園就園奨励費補助金を交付しました。 継続して行います。
幼稚園・保育所・ 小学校・中学校の連携	◆幼稚園・保育所と小学校・中学校の連携のあり方等について、研究を進めます。	学校教育課 子育て支援課 保育幼稚園課	スムーズな就学ができるように、各校それぞれで、幼保小及び小中の連携を図りました。地域子育て支援モデル事業の中の4箇所を実施しました。 継続して行います。

(2)家庭や地域の教育力の向上

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
小中学校における 家庭教育学級の充実	◆各小中学校のPTAで家庭教育学級を編成し、学習活動を実施します。	社会教育課	市内20小学校、12中学校で147講座を実施し、参加者数は、延べ2,647人です。 継続して行います。
児童生徒健全育成 地域活動	◆学校・PTA等が一体となって組織された「児童・生徒健全育成地域活動推進協議会」を中心に、児童生徒の健全育成を目的として、研修会や講演会の開催、家庭や地域における相談活動等を行います。	社会教育課	15協議会で児童生徒健全育成地域活動を行いました。事業費は4,860千円です。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
放課後子ども教室	◆小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の機会を提供します。	社会教育課	大西・宮窪の2箇所を実施し、参加者数は延べ2,534人です。 継続して行います。
放課後子ども総合プラン	◆一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室については、放課後児童クラブの充実を最優先に進めることとします。	社会教育課 子育て支援課	放課後児童クラブの充実を最優先に進め、一体型事業についても、先進事例等を研究し継続的に検討を行いました。 継続して行います。
	◆放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的、又は連携による実施に関する具体的な方策については、放課後児童クラブの充実を図り、安全安心な放課後等の居場所の確保に努めます。 小学校の空き教室の活用については、学校教育に支障のない範囲で、学校施設の開放を進めることとします。		支援内容の充実を図るため、地域の方々の参画を得て、学習や交流事業等の取り組みを推進しました。開設場所については、学校施設の活用等継続的に検討を行いました。 継続して行います。
	◆小学校の余裕教室等の活用に関する具体的な方策については、今後とも、小学校との連携を図り、積極的な活用を目指します。		放課後の居場所として、安全かつ児童に負担の少ない余裕教室の活用を基本に、一時的な利用を含めて、学校との連携を継続して行いました。 継続して行います。
	◆教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策については、教育委員会と子育て支援課で積極的な情報交換と情報共有に努めます。		放課後子ども総合プラン運営協議会等で情報共有・交換を行いました。 継続して行います。
◆地域の実情に応じた効果的な事業の検討の場（運営協議会等）については、子ども・子育て会議等を通じ、検討を行います。	地域の実情把握に努め事業の検討を行いました。 継続して行います。		

5 心の健やかな成長のために

(1) 児童健全育成

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
児童館	◆児童に室内型の遊び場と健全な遊びを提供し、その健康を増進するとともに情操を豊かにするための諸事業を行います。また、ボランティアの育成を図ります。	子育て支援課	地域や学校等との連携、児童館のない地域等への積極的な支援を実施しました。 継続して行います。
自然ふれあい体験事業	◆「風の顔らんど・小島」の自然の中で、サマーキャンプや自然観察会等、自然体験活動をとおして、児童の健全育成を図ります。	子育て支援課	小学校1・2年生は42人、3・4年生は24人、5・6年生は16人、計82人が参加しました。 継続して行います。
少年少女発明クラブ	◆児童（小学5・6年生）が家庭や学校とは異なった集団の中で、工作活動を通じて科学的な発想を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ります。	商工振興課	全25回の講座を行い、38人の会員で延べ597人が受講しました。 受講生の中には来年度も受講したいとの声もありました。 継続して行います。
引きこもり・不登校対策	◆今治市適応指導教室（コスモスの家）を設置し、引きこもりや不登校児童・生徒の支援を行います。	教育委員会 総務課	年度末の在籍者数は、中学生23人、小学生4人です。 継続して行います。
大三島少年自然の家	◆宿泊型の野外体験施設を設置し、児童生徒の健全育成活動に取り組みます。	社会教育課	利用者数は延べ27,152人です。 継続して行います。
少年悩み相談	◆青少年センターにおいて、いじめ、不登校、非行、家庭生活等青少年に関する悩みごとの相談を実施しています。特に、いじめに関しては「いじめ相談ホットライン」を設置して対応に取り組みます。	社会教育課 学校教育課	様々な問題解決に向けて活動しました。特にいじめに関しては「いじめ相談ホットライン」を設置して相談しやすい環境づくりに努めました。相談数は41件です。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
青少年の街頭補導	◆小中高生を対象に繁華街や公園周辺等の青少年が集まりやすい場所を巡回指導します。	社会教育課	街頭補導は 975 回で、参加人数は延べ 4,498 人です。 継続して行います。
ちびっこ広場の整備	◆児童の豊かな情操と健康な身体を養うことを目的に、自治会等が設置しているちびっこ広場の整備の助成をします。	市民生活課	補助金交付は 14 件です。 継続して行います。
児童手当	◆中学校卒業前までの児童を養育している方に経済的支援を行い、児童の健全育成を図ります。	子育て支援課	国の制度に基づき実施しました。受給者数は 10,593 人です。 継続して行います。

(2) 思春期保健対策の充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
小中学校における薬物乱用防止教育	◆外部講師を招いての講演会や研修を開催し、保健体育や学級活動をとおして、薬物の乱用防止教育に取り組みます。	学校教育課	全小中学校において、学級活動や保健体育の授業、外部講師を招いての講演等をとおして取り組みました。 継続して行います。
小中学校における喫煙防止教育	◆保健体育や学級活動をとおして、計画的に喫煙の防止を図ります。	学校教育課	全小中学校において、学級活動や保健体育の授業、外部講師を招いての講演等をとおして取り組みました。 継続して行います。
思春期における健康教育	◆学校との連携により、生徒や保護者等に対し、性、薬物、たばこ・アルコール等生涯を通じた健康づくりに関する指導を行います。	学校教育課 健康推進課	全小中学校において、学級活動や保健体育の授業、外部講師を招いての講演等をとおして、取り組みました。また、ふれあい体験学習により、自分の健康を守る指導、命を大切にする指導を実施しました。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
思春期における 性教育	◆生徒や保護者等に対し、講話や研修をはじめ、性教育に関する指導を行います。また、思春期やせ症及び不健康やせに関する指導を行います。	学校教育課 健康推進課	学級活動や保健体育の授業等をとおして、健康に関する学習や性教育を行いました。 中学校3年生に妊婦体験・乳児ふれあい体験学習を実施しました。今後実施校を増やしていきます。

(3)次代の親の育成

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
小中高生の乳幼児との ふれあい体験	◆小中学校・高校の生徒と保育園児とのふれあい体験学習を実施します。	学校教育課 保育幼稚園課	小中学校・高校の生徒と保育園児とのふれあい体験学習を実施しました。 継続して行います。
コミュニティ活動の育成	◆地域のコミュニティの活性化、連帯感の醸成を目的に、各種行事やイベント等、市内27地区で実施する団体に助成します。	市民生活課	市内25地区のコミュニティ推進協議会等の団体に補助金を交付しました。 継続して行います。
男女共同参画意識の醸成	◆男女が協力して家事や育児をすることの意義等について、フォーラムを開催する等、男女共同参画意識の啓発を行います。	人権啓発課	父と子のアイロンがけ教室やフォーラム今治を開催し、男女共同参画意識の啓発を図りました。 継続して行います。

6 要保護児童への対応

(1) 児童虐待防止対策の充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
要保護児童対策地域協議会	◆要保護児童の適切な保護、家庭への適切な支援を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置し、情報交換・支援内容に関する協議を行います。	子育て支援課	代表者会議を年 1 回、実務者会議を月 1 回実施しました。 継続して行います。
子ども虐待防止講演会	◆講演会を開催して、市民の意識啓発を図り、児童虐待の防止に取り組みます。	子育て支援課	講演会を平成 30 年 1 月 17 日（水）に開催しました。参加人数は 85 人です。 継続して行います。
児童虐待等の未然防止・早期発見	◆児童虐待等の未然防止や早期発見を目的に、通報体制の強化や市民への周知を図ります。	子育て支援課	ポスター、リーフレット等を配布し、周知を行いました。 継続して行います。
子どもの権利擁護の推進	◆啓発活動等を通じて、子どもたちが本来持つ権利を尊重するとともに、必要な保護を効果的に実施し、「子どもの最善の利益」の実現を目指します。	子育て支援課	ポスター等の掲示を行い、意識啓発を行いました。 継続して行います。

(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
母子父子寡婦福祉資金の貸付	◆母子・父子・寡婦における経済的自立や児童の就学等に関する資金を貸し付けます。	子育て支援課	県の制度に基づき母子・父子家庭及び寡婦に対する貸付を実施しました。貸付数は 46 件です。 継続して行います。
母子家庭等の就労支援	◆ひとり親家庭における母親等の職業能力開発のための講座受講費用や、就業に有利な一定の資格を取得するまでの生活費について、一部助成を行います。	子育て支援課	母子・父子家庭の親に対し、就労に向けた資格取得期間の生活費等を助成しました。助成数は 8 件です。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
母子家庭等の自立支援プログラム	◆ひとり親家庭における母親等の就業を支援するため、公共職業安定所等の関係機関と連携し、自立支援計画を策定します。	子育て支援課	公共職業安定所と連携し、ひとり親家庭の親に対し就業支援を行いました。 継続して行います。
ひとり親家庭への介護人の派遣	◆ひとり親家庭で一時的な介護や保育等が必要な場合、介護人を派遣します。	子育て支援課	愛媛県母子寡婦福祉連合会を通じて必要なサービスを提供しました。 継続して行います。
母子・父子相談	◆母子・父子自立支援員を配置して、ひとり親家庭の生活の安定・自立に関する相談業務を実施します。	子育て支援課	母子・父子自立支援員を配置し、経済的な相談を実施しました。 継続して行います。
母子・父子家庭等への情報提供	◆母子・父子家庭等に対し、自立支援に向けた情報提供を行います。	子育て支援課	ひとり親家庭に必要な情報提供を行いました。 継続して行います。
児童扶養手当	◆父親または母親と生計を異にする18歳到達後最初の年度末までの児童を養育している方に対し、経済的支援を行います。	子育て支援課	国の制度に基づき児童扶養手当制度を実施しました。受給者数は1,512人です。 継続して行います。
ひとり親家庭の医療費助成	◆20歳未満の子どもを扶養しているひとり親家庭の親及びその子どもについて、医療費の自己負担分を助成します。	保険年金課	対象者に対し助成を実施しました。 継続して行います。
母子世帯等の保育料の減免	◆認可保育所における低所得の母子世帯等について、経済的負担の軽減を図るため、保育料の減免を行います。	保育幼稚園課	国の母子世帯等の負担軽減を踏まえたうえで、実施しました。 継続して行います。
母子生活支援施設の運営と整備	◆支援を必要とする母子世帯が、安心して自立に向けた生活を営むことができるよう、母子生活支援施設を効果的に運営するとともに、環境の整備を図ります。	子育て支援課	国の制度に基づき入所者への支援を行いました。 継続して行います。

(3)障がい児特別支援教育施策の充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
認可保育所における障がい児保育	◆各保育所において、障がい児の受け入れを実施します。	保育幼稚園課	障がい児の受け入れを行いました。 継続して行います。
幼稚園における特別支援教育	◆各幼稚園において、特別な配慮を要する幼児の受け入れを実施します。	学校教育課	各幼稚園において実施しました。 継続して行います。
障がいに応じた教育指導体制	◆今治市教育支援委員会において新入生の現状把握を行うとともに、各小中学校に校内教育支援委員会を設置して、指導内容の充実を図ります。	学校教育課	夏休み中に教育相談を実施し、各小中学校の校内教育支援委員会と連携した就学や進学の手導を行いました。 継続して行います。
特別支援教育コーディネーター	◆小中学校に配置し、特別支援教育に関する内容について相談を受け、個別の支援ができるように関係者・機関と連絡調整を図ります。	学校教育課	全小中学校の特別支援コーディネーターが参加する研修会を実施し、適正な就学指導や進路指導ができるよう努めました。 継続して行います。
児童発達支援センター「ひよこ園事業」	◆発達の不安や生活のしにくさのある就学前の児童が通園し、日常生活の基本となる生活習慣を養います。	障がい福祉課	利用者数は 36 人です。 継続して行います。
児童発達支援事業「ひよこ学級」(旧児童デイサービス)	◆在宅や地域の幼稚園・保育所に通っている就学前の児童が通園し、機能回復訓練を行います。	障がい福祉課	利用者数は 110 人です。 継続して行います。
児童発達支援事業「ほのぼの学級」	◆重度の知的障がいと肢体不自由のある就学前の児童を対象に日常生活動作、運動、機能訓練等の療育を行います。	障がい福祉課	利用者数は 12 人です。 継続して行います。
レスパイトサービス事業	◆在宅障がい者(児)の介護者の疾病や、冠婚葬祭等により介護が困難になった場合、一時的に障がい者(児)を預かります。	障がい福祉課	受給者数は 130 人です。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
障がい者の自立支援対策	◆地域自立支援協議会等を通じて、障がい者に関する福祉・保健・医療等のサービスを総合的に調整します。	障がい福祉課	地域自立支援協議会の開催状況は、相談支援部会 12 回、就労支援部会 11 回、発達支援部会 5 回、全体会 1 回開催しました。 継続して行います。
障がい者(児)相談	◆相談支援センターを設置して、障がい者(児)の生活一般に関する相談事業を実施します。	障がい福祉課	基幹相談支援センター 2,031 件、障害者生活支援センター444 件、今ねっと 185 件、ときめき 4,778 件の相談がありました。 継続して行います。
発達障がい支援への取り組み	◆発達に課題のある乳幼児の早期発見・早期支援を行うとともに、関係機関が連携を図りながら総合的な支援を行うことにより、子育て家庭の不安の軽減を図ります。	障がい福祉課	発達支援センターの相談件数は 2,067 件です。 継続して行います。
障害児福祉手当	◆20 歳未満で重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする障がい児に支給します。	障がい福祉課	認定者数は 80 人です。 継続して行います。
特別児童扶養手当	◆20 歳未満で身体または精神に障がいのある児童を監護している方に対し、経済的支援を行います。	子育て支援課	国の制度に基づき実施しました。受給者数は 356 人です。 継続して行います。
重度心身障がい者の医療費助成	◆身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳 A・B (医) 取得者について医療費の自己負担分を助成します。	保険年金課	対象者に対し助成を実施しました。 継続して行います。

7 健康であるために

(1) 子どもや母親の健康の確保

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
母子健康手帳の交付	◆妊娠中の母体の様子や出産後の子どもの健康状態を記録するための母子健康手帳を妊娠のできるだけ早い時期に交付します。	健康推進課	妊娠のできるだけ早い時期に手続きを行うよう啓発しました。 継続して行います。
出産準備教育 (パパママ学級)	◆初めて出産する妊婦とその夫を支援するとともに、その不安を軽減し、乳幼児の健やかな成長を図ります。	健康推進課	年3コース(1コース4回)実施しました。 継続して行います。
低出生体重児への支援	◆妊婦健康診査の充実や、母体の健康管理についての指導を進めます。妊婦の喫煙・飲酒率を減らすよう、指導を行います。	健康推進課	母子健康手帳交付時に妊婦の喫煙・飲酒状況を確認し指導を行いました。また、家族の喫煙・飲酒状況も確認し指導を行いました。 継続して行います。
産後うつへの支援	◆新生児期の訪問を増やし、産後うつへの早期対応を図ります。	健康推進課	母子健康手帳交付時やパパママ学級等で産後うつについての情報提供を行いました。また、エジンバラ産後うつ質問票を利用して早期支援を行いました。 継続して行います。
乳幼児歯科相談	◆子どもの歯に関心を持ち、仕上げ磨きをする親の割合を増やします。	健康推進課	歯科衛生士による乳児期からの指導を行いました。 継続して行います。
妊産婦・乳幼児家庭訪問	◆生活環境の変化が大きい妊娠・出産・育児の時期に保健師が訪問指導を行うことにより、育児不安の解消を図ります。また、ハイリスク妊婦・乳幼児へのフォロー体制を整えます。	健康推進課	出産後早い時期に全戸訪問を行いました。医療機関と連携し、ハイリスク妊婦・乳児のフォローを行いました。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
乳幼児健康相談	◆発育発達の節目ごと（4・7・10・12か月）に成長の確認（身体計測、個別相談等）、歯科の相談指導を行い、子育て不安の解消を図ります。	健康推進課	定期的な健康相談を行い、成長の確認や保護者の心配事・不安に随時対応しました。 継続して行います。
乳幼児健康診査	◆乳児・1歳6か月児・3歳児に対する身体計測、個別相談、内科健診、歯科健診等を行い、乳幼児の健全育成と育児不安の軽減を図ります。	健康推進課	乳幼児の発育発達フォローと子育て不安の軽減に努めました。 継続して行います。
医師による個別相談	◆乳幼児期の育児不安、学校生活、友人関係等、幅広い相談を行います。また、療育に関する相談も行います。	健康推進課	子育て個別相談は年4回、療育相談は年3回実施しました。 継続して行います。
子どもの事故予防教育	◆健診や家庭訪問の際にパンフレット等を配布し、育児講座等により不慮の事故予防の周知を図ります。	健康推進課	パンフレットを作成し、育児講座や健康相談において、子どもの事故予防について、周知を行いました。 継続して行います
不妊に関する支援	◆不妊の相談や、特定不妊治療費助成制度の周知等の支援を行います。	健康推進課	特定不妊及び不育症治療費助成を引き続き実施しました。 継続して行います。

(2)小児医療の充実

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
休日夜間小児医療・小児初期救急医療	◆休日・夜間における小児医療体制について、医師会による小児の初期救急医療体制を維持するために、医師会と連携し、安心して暮らせるまちづくりを推進します。小児救急電話相談（#8000）*の普及に努めます。	健康推進課	パンフレットを作成し、家庭訪問や健康相談等で配布しました。かかりつけ医を持つことについて、指導を行いました。 継続して行います。
乳幼児の医療費助成	◆乳幼児が医療機関で治療を受けた場合、医療費の自己負担分を助成します。	保険年金課	対象者に対し助成を実施しました。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
児童の医療費助成(入院)	◆小学生・中学生が入院した場合、医療費の自己負担限度額まで払戻しをします。	保険年金課	対象者に対して助成を実施しました。 助成の対象範囲を平成 27 年 10 月より歯科通院にも拡充しています。 継続して行います。
未熟児養育事業	◆未熟児のうち、指定養育医療機関の医師が入院養育の必要性を認めた場合、医療費の自己負担分を助成します。	保険年金課	対象者に対して助成を実施しました。 継続して行います。

＊小児救急電話相談（＃８０００）

…小さな子どもをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいか、病院の診療を受けたほうがいいのか等判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができる事業

【資料：厚生労働省】

(3)食育の推進

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
離乳食講習	◆保健センター等において、栄養士による講習会を開催し、離乳食の適切な指導を図ります。	健康推進課	本庁は12回、支所は随時実施しました。 継続して行います。
乳幼児栄養相談	◆離乳期・幼児期における栄養面での不安を解消し、健全な食生活が送れるよう支援します。また、医療との連携により、課題のある児へ適切な支援を行います。	健康推進課	栄養相談資料を随時見直し作成しました。管理栄養士による定期的な相談を実施しました。 継続して行います。
保育所における食に関する教育	◆管理栄養士による食育講座の開催、チラシの配布等をとおして、乳幼児期における食に関する教育を推進します。	保育幼稚園課	引き続き乳幼児期における食に関する教育を推進しました。 継続して行います。
幼稚園における食に関する教育	◆幼稚園だよりやパンフレット等の配布をとおして、家庭における食習慣の重要性を周知します。	学校教育課	各幼稚園において実施しました。 継続して行います。
小中学校における食に関する教育	◆正しい食生活を推進し、小児生活習慣病の予防・啓発を図ります。	学校教育課	栄養教諭や学級担任を中心として食の大切さを教育しました。 継続して行います。
食に関する理解の促進	◆生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むために食育に関する意識啓発、指導体制の整備等を進めます。 また、地産地消の推進にあわせ、有機農産物の導入や地元の豊かな水産資源の活用を推進します。	農林振興課 水産課 学校給食課	「saisaiKIDS 倶楽部」をJA、県、市連携で実施しました。参加児童数は18人です。また、学校給食への地元産農水産物の活用を実施しました。 継続して行います。

8 子どもを守るために

(1)子どもを犯罪等の被害から守るための活動

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
有害情報の取り扱いに関する啓発	◆悪影響が懸念される性や暴力等の有害情報や、インターネット・携帯電話等による犯罪被害から子どもを守るため、関係機関が連携して有害情報等の取り扱いに関する啓発活動を行います。	社会教育課	補導委員の会等で啓発を行いました。 継続して行います。
有害環境の調査・除去	◆警察、PTA、地域ボランティア、補導委員会等との連携により、有害環境の情報共有に努めます。また、街頭補導や巡回指導時に有害メディアの調査や回収を行い、善後策を検討します。	社会教育課	街頭補導や巡回指導時に有害メディアの調査や回収を行いました。 継続して行います。
犯罪等に関する関係機関・団体の意見交換	◆警察、関係機関との意見交換を行い、犯罪防止を図ります。	社会教育課 市民生活課	警察、関係機関との会等を通じて、意見交換を行いました。 継続して行います。
防犯灯の設置促進	◆犯罪予防の観点から、自治会、町内会等における防犯灯の設置に対して助成します。	市民生活課	補助金交付は182件です。 継続して行います。
地域住民による自主防犯活動の推進	◆市内27地区に防犯協会の支部があり、防犯パトロール、防犯キャンペーンや子どもまもり隊による活動等、日頃から地区の安全、安心な暮らしの推進に努めます。	市民生活課 学校教育課	地域の見まもり隊やPTA等の協力により、子どもたちが安全に登下校できるよう指導を行いました。 継続して行います。
少年非行の防止と健全育成活動の推進	◆防犯協会と連携し、少年の非行防止、健全育成活動の推進を図ります。	市民生活課	防犯協会の各事業に参加しました。 継続して行います。
教育相談体制の充実	◆相談員及び関係機関と連携し、助言・支援を行います。	学校教育課	相談員及び関係機関と連携し、児童生徒の健全育成に努めました。 継続して行います。

(2)安全な道路交通環境の整備

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
歩行空間のバリアフリー化	◆今治市交通バリアフリー基本構想に基づき、歩車道分離、歩道の平坦性確保、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等、歩行空間のバリアフリー化を図ります。	道路課	平成29年度までに9路線で整備を実施しました。 継続して行います。
交通機関のバリアフリー化	◆高齢者や障がい者、子どもの乗降時の安全性・利便性の向上を図るため、公共交通機関のバリアフリー化を推進します。	地域振興課	航路及びバス事業者は、船舶及び車両更新に合わせて、バリアフリー基準適合船舶及び車両を順次導入しました。 継続して行います。
交通安全に関する教育	◆保育所、幼稚園、小学校等を中心に交通安全教育を実施するとともに、広報活動を通じて子どもの交通安全意識の向上を図ります。	市民生活課	交通安全教室実施数は68件です。 継続して行います。
交通災害遺児福祉手当	◆交通災害遺児に対し、義務教育終了までの間、一定額の支援を行います。	市民生活課	平成29年度は、該当者がおりませんでした。 継続して行います。

(3)住宅の確保・居住環境の確保

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び今後の方針
子育て世帯居住の安定の確保	◆就学前の子どものいる世帯の市営住宅における入居申込資格について、入居収入基準の緩和を図ります。	住宅管理課	小学校就学前の子どものいる世帯を裁量階層として入居収入基準の緩和を図りました。 継続して行います。
シックハウス対策	◆化学物質を含有した新建材等から発せられる室内空気汚染によって引き起こされる健康障がい（シックハウス症候群）を防止するため、建築基準法に基づくシックハウス対策に係る規制の適切な指導を行います。	建築指導課	建築基準法に基づくシックハウス対策に係る規制の適切な指導を行っています。 継続して行います。

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
ユニバーサルデザインの推進	◆子育て世帯のみならず、できるだけ多くの方が快適に利用できるよう、公共的施設のユニバーサルデザイン化を図ります。	建築営繕課	多目的トイレを整備する際には、手すりや十分な広さに加えて、ベビーシート等を設置し、乳児同伴者等多様な利用者に配慮しました。（4箇所設置） 継続して行います。

(4)安全・安心なまちづくりの推進

【実施事業】

事業名	事業内容	担当部署	進捗状況及び 今後の方針
公園の管理	◆公園における遊具の点検、清掃等を定期的実施し、子どもの安全と環境整備を図ります。	公園緑地課	子どもが安全に公園を利用できるよう、定期的な遊具の点検や環境整備を継続して行います。
地域を中心とした安全対策への取り組み	◆関係ボランティアの協力のもと「きけん」の赤旗を危険箇所へ設置。小学校へ入学する児童に対して防犯ブザーを配布します。	市民生活課	今治及び伯方地区防犯協会が、防犯ブザー・「きけん」の赤旗を配布しています。